健康保険 傷病手当金請求書(第 回目)

一 (被保険者 (請求者) 記入欄

請求年月日 令和 年 月 日 事業所 (会社) の名称 被保険者証の記号・番号 記号 番号 (フリガナ) 氏名 業務内容														
(イン) 被保険者証の 記号・番号 (イン) <th></th>														
氏名														
)														

生 生千月日 □平成 平 月 日 (成 <i>)</i> (例: 事務職、営業職、														
報														
電話番号 (TEL:)													
1. / 原 - 	<i>k</i>													
1. 傷病名 1. 傷病名 (2. 元内または 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	TH D D													
求 □私傷病 □第三者行為 □交通事故 □その他														
内 3. 傷病原因 ※労災に該当する場合は請求できません														
※ 第二者行為・父連事故の場合は「第二者の行為による陽柄庙」を併せてこ提出くたさい														
令和 年 月 令和 年 月 4.療養のために休んだ期間(請求期間)と日数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	l から 日間													
令和 年 月 「	まで													
1. 上記療養のため休んだ期間(請求期間)に報酬(給与)を □はい(報酬額	円) □いいえ													
受けましたか。または今後受けられますか。 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	□受給していない □受給している □請求中													
2.														
2-② 受給している・請求中の場合、受給の要因となる傷病名 傷病名 傷病名	基礎年金番号													
および基礎年金番号等をご記入ください。	be A for													
※受給している場合「年金証書・最新の振込ハガキの写」を添付 受給開始日	年金額													
してください。	円 円													
3. 今回の申請は労災保険から休業補償給付を受けている期間のものですか。 □はい □いい; 確 3. ① 「はい」または「労災議戒由」レダシを提合。 表於示	□労災請求中													
3 ① 「はい」よたは「万久明水中」と行えた物口、又相九	労働基準監督署													
(旧かん)も万國金十皿自有とこに八八たと、。														
- Villatingty - Sey it style	□はい □いいえ													
項 4-① 「はい」と答えた場合、保険者番号・被保険者番号・ 保険者番号	被保険者番号													
保険者の名称をご記入ください。														
保険	保険者名称													
	給付金の振込について : 健保から事業主へ振込み、事業主から被保険者へ給与に含めて振込まれます。													
給与合算手続きを事業主に依頼するため、必ずご署名くださ	給与合算手続きを事業主に依頼するため、必ずご署名ください。													
委任状 本申請に基づく給付金に関する受領を事業主に委任します。														
令和 年 月 日 被保険者氏名														

社会保険労務士の 提出代行者名記載欄

K002

※記入内容を訂正される場合は、訂正箇所を二重線で抹消し、正しい内容をご記入ください。 二重線上には訂正印または記入者のフルネーム署名が必要です。

受付日付印

																	_
	被保険者氏	:名															
	労務に服さな	かった期間	令和	年	月	日	から	令和	Π	年	月	日	まで		E	間	
		年休		令和	年	月	日	から	令和	年	月	日	まで	E	間		
	上記期間中の年休、欠勤、休職等の期間				令和	年	月	H	から	令和	年	月	Н	まで	E	間	
+					令和	年	月	日	から	令和	年	月	日	まで	Е	間	
)令和	年	月	H	から	令和	年	月	H	まで	E	間	
業	上記期間中、賃金を支給し			はい			□月絹	· □	時間給			給与計	算締日				日
主	ましたか(し	ますか)?		いいえ	給与の)種類 □日給 □その他 □			()	給与す	支給日	□当月・□翌月				
が	上記期間中の	報酬記入欄(記入欄	が足りない	場合は別紙	を添付	してく	ださい。)	※勤務	表(写)	と賃金	明細 (2	」 写) を添	付して	ください	,,
証	期間/			月 日			月	Ξ			月	日		<備			
• •	マ分 単価			~ 月	日分		~	月	日分		~	月	日分				
明				支給額	[支	給額			Į.	正給額					
す	基本給				円				円				円				
る	通勤手当				円				円				円				
ع	手当				円				円				円	1			
	手当				円				円				円	1			
ح	計				円				円				円	1			
ろ	上記のとお	 り相違ないこ	とを訂	F明する。		1						(‡	旦当者氏	名)
	工品 > C 45	л _П , <u>С</u>	ССП	L/1/ 00								令和		年	月	日	
	事業所所在地																
	事業所名称																
	事業主氏名 電話番号																
	患者氏	名															
療	皮 (1)							左	記傷病	うに	(1)		年	月		日(頃))
	傷病名 (2)							対	する初記	診日	(2)		年	月		日(頃))
養	発病または □平成			年 月				発	病また	は							
を	負傷の年月	日 │ □令利	1	年	H I			傷の原	因								
担	労務不能と 令和 認めた期間			月			左記期間中の			令和	年	 月	日	から			
当					日からロナベ		日間					年				日間	
し	※証明日以前の		年	月	日まで				入院した期間		令和	· '	月	日	まで		
た	療養費用の)別 □俊	建保	□公費	□自費	口その	の他		転帰	i	Πž	台癒	□中业	: 🗆	繰越	□転	医
	診療	診療日を	月	1 2 3 4	5 6 7 8 9	10 11	1 12 1	3 14 1	5 16 1	17 18	19 20	21 22	23 24	25 26	27 28	29 30	31
医	実日数	○で囲ん	月	1 2 3 4	5 6 7 8 9	10 11	1 12 1	3 14 1	5 16 1	17 18	19 20	21 22	23 24	25 26	27 28	29 30	31
師	E	·	月		5 6 7 8 9					17 18	19 20	21 22	23 24	25 26	27 28	29 30	31
が	診療実日数が	0日の場合の	み、	診療せずに	労務不能と	判断され	れた理由	自(詳し	()								
意																	ſ
見																	
を	工品 1/3/3/3 1	110 0 110 0 10 10 10 10 10	H13 (C.	13 1 J 1 J 1 J 1	C 2/III/(43	S 0 /IL/	C2J 11H	WK1 1.D.	八旦小	H / N /	1, 12, 10	t-1 /1 /					
記	症状経過から	みて、従来の	融種 に・	ついて労務	不能と認め	られた	医学的 <i>†</i>	・所見									
載	進 八重 とう	·/· C	八王10	2 (())		540761	□ 1 μ1,	×//I /L									
す																	
る	人工透析を	□平成 ・ □令和 年 月 日															
٤	人工臓器等	□人工肛門 □人工膀胱 □人工関節 □人工骨頭 □心臓ペースメーカー □人工透析 □その他()															
ح	上記のとお	ロで順、 ハケル ロ八上だ切															
ろ	上記のとお 医療機関名							भाग	Н	年	月	日					
医師の氏名																	
	電話番号																